

登録コード	E4646900	開講年度	2026					
授業科目	音楽表現指導法					担当教員	中島 卓郎	
英文授業名						副担当	井田 勝大・田島 達也	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限		対象学生	3年生
講義室	教育N404	教育N409	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	26Eカリ，25Eカリ，24Eカリ，23Eカリ，22Eカリ，21Eカリ，20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					学校音楽教育における音楽科の特性を捉え、教員としての使命感を持つようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					声楽・器楽・音楽理論の専門的見地から学校教育に生きる指導法の理論、知識、実践的方法について習得する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	音楽の指導内容の原理について理解し、具体的な楽曲における指導内容と方法の多様性について説明できる能力を養う。 音楽理論に裏付けられた表現指導の考え方を基盤に、スコアリーディングを段階的に学び、作品構造・和声・リズム・音色の把握から指導案へ結び付け力を養う。 加えて現代音楽作品の分析を通し、多様な様式に対応する指導方法を習得する。 小・中学校の教材を用いて独唱・重唱・合唱指導を実際に指導する活動を行う。正しい歌唱指導には、音程やリズム等以外にもさまざまな内容がある。それらを理解し、実際の歌唱指導に活かせる能力を養う。							
(5)授業計画	第1回：音楽における認識の対象と指導内容の関係性について（中島） 第2回：感性を働かせる指導方法について（中島） 第3回：文化的側面を視点とした楽曲へのアプローチの方法について（中島） 第4回：ICTを利用した音楽指導の実践と留意点について（中島） 第5回：音楽理論に基づいた指導方法(井田) 第6回：スコアリーディング（井田） 第7回：スコアリーディング（井田） 第8回：スコアリーディング（井田） 第9回：現代音楽の分析と指導方法(井田) 第10回：歌唱指導法 指導内容の多様性を考える(田島) 第11回：歌唱指導法 変声期指導の注意点について(田島) 第12回：歌唱指導法 独唱曲を教材とした実際の指導内容と方法(田島) 第13回：歌唱指導法 重唱曲を教材とした実際の指導内容と方法(田島) 第14回：歌唱指導法 合唱曲を教材とした実際の指導内容と方法 授業アンケートの実施(田島) 定期試験							
(6)成績評価の方法	・平常の取り組み(50%)，および期末試験(50%)。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	()問題の設定が適切であり，()その問題の背景を説明できており，()その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，()それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，()その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。()から()の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	具体的な楽曲、教科書や副読本で予習しておくべき個所を指定する。前週の授業内容の理解を問う質問を授業冒頭に行うので、授業内容を毎回復習してから授業に臨むこと。							
(9)履修上の注意	事前学習の程度により毎講義・実習の内容の質が大きく左右されるので、十分な準備が必要である。							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	中島:N409室にて随時。研究室電話番号:026-238-4137 メールアドレス:pf-naka@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 音楽編』 『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 音楽編』 『最新 中等科音楽教育法〔改訂版〕』、音楽之友社 『中学生の音楽1』，教育芸術社 他							
【参考文献】	H.P.シュミッツ，井本日向二 滝井敬子共訳，『演奏の原理』，シンフォニア，1977 中島卓郎・他，『教科内容学に基づく教員養成のための教科内容構成の開発』，日本教科内容学会編，あいり出版，2021							